

令和3年度 出雲農林高校 第1回防災避難訓練

7月2日 期末試験最終日、本年度1回目の防災訓練を実施しました。

この訓練は、地震の発生を想定し、校内放送による情報伝達と消防署への通報連絡等の訓練を通じ生徒と教職員の災害に対する心構えと防災意識の向上を図ることを目的に例年この時期に実施しています。



この避難誘導訓練では、地震発生を知らせる放送で、机の下で身の安全を守り、次の指示があるまで待機する。そして、本部長からの指示で、避難場所を聞きとる。併せて、避難行動をとる際にはカバン等で頭を保護すること。保護者に連絡がとれるよう携帯電話を携行することを聞き取り行動しました。



避難完了後の講評では、山根校長から、常日頃から防災意識を持つことの大切さとこの地域で起こった最近の地震状況について話されました。自然災害対策として、平素より心の有り様と生活の備えが必要であるとポイントを押さえて戴きました。



終わりに、梅雨時期に入り豪雨や土砂崩れの発生に備え、家庭においても話をし、安全に避難できるようにしておくことの大切さに触れられました。

この度の訓練で学んだことをこれからの暮らしに活かし、防災意識の維持・向上に努めることで防災体制の充実につなげて参ります。